口腔衛生学会雑誌投稿規程(令和6年12月20日改正)

- 1. この規程は口腔衛生学会雑誌に掲載する原著(Original Article:口腔衛生学上の新規性と独創性があり、かつ 明確な結論と理論的考察を有した論文), 総説 (Review Article:複数の口腔衛生学に関わる文献や資料に基づ いた総括的な論評)、論説(Special Article:口腔衛生学の教育・研究・臨床および口腔衛生の活動・政策・ 動向などについての提言), 症例報告 (Case Report:口 腔衛生・予防歯科に関する症例) または報告 (Report: 口腔衛生に関する実践,活動,材料,技法および研究) および資料(Information:口腔衛生学上有用なデー タ)の投稿について規定する. 本規程に記載されてい ない事項については、その都度、編集委員会で決定す る. なお、講演集については別に定める
- 2. 投稿は本会会員に限る. 共著者が会員でない場合は, その氏名を本会雑誌に発表できない
- 3. 本会雑誌に投稿する論文は、口腔衛生に関するもので あって, 他の雑誌に投稿や発表また大学の図書館リポ ジトリーで公開していないものに限る.
- 原稿はメール投稿によって送付すること 投稿の要領については日本口腔衛生学会ホームページ (http://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/) を参照するこ
- 原著、論説、報告および資料は、原則として刷 り上がり10頁以内とする
- 6. 印刷に要した費用は、原則として著者負担とする. た だし、刷り上がり8頁までの印刷費の一部は学会が負 担する.
- 原著および論説の掲載は受理順とする.
- 8. 原稿の書き方は次の要領による.
 - i) 原稿は和文または英文にする.
- ii) 和文原稿は新かなづかい、ひらがな横書きとする. ワード・プロセッサー使用の場合は、A4 判用紙に 12 ポイントの活字を用いて提出する(25字×30行, 余白左 30 mm, 右 70 mm, 上下とも 20 mm). 英 文原稿は A4 判用紙にダブルスペースで 12 ポイン トの活字を用いる(余白は和文原稿に同じ
- 表題、著者名、所属および必要があれば指導者名の 順序に書き、本文は別葉から書き出す。
- iv) 原稿の構成は原則として、はじめに(またはまえが き,緒言),材料および方法(または対象および方法), 結果および考察とする.
- v) (a) 本文が和文の場合: 概要 (600 字以内) と 3~5 語程度の索引用語をつける. 英文の表題, 著者名, 所属(必要があれば指導者名), Key words ならび に英文抄録(500 words 以内)をつける. ただし. 症例報告、報告および資料は Key words ならびに 英文抄録を省略することができる。 (b) 本文が英文の場合:英文抄録(300 words 以内) と3~5単語程度のKey wordsをつける. 和文表題, 著者名, 所属 (必要があれば指導者名), 索引用語 ならびに概要 (1200 字以内) をつける.
- vi) 和文論文内の英文抄録, 英文論文の本文, 図表はネ イティブチェックを受けておく
- vii) 本文の区分は次の通りとする. 大見出しは上下1行 あけ、中見出しは上のみ1行あける. 小見出しは行 をあけない.
- viii) 度量衡単位は, g, mg, μg, m, cm, mm, cm², L, mL, μL などを用いる.
- ix) 図表の説明は原則として本文と同一の言語とし、図 1、表1のように書く、また、本文中の挿入箇所を、 本文原稿の該当部分の欄外に図1などと朱書きして おく
- x) 原稿の終わりの空欄に「著者への連絡先」として、 代表者氏名·郵便番号·住所·電話番号·Fax 番号·

- e-mail アドレスを入れる (和文と英文)
- xi) 文献はその引用箇所には引用順に番号を付し (例えば、奥村 ¹⁵⁾, …といわれる ²⁰⁾, のように), 本文の 末尾には番号順に次のように書き入れる.
- a) 雑誌の場合 著者名(3名まで記載),表題,雑誌名(略号でよいが,一般に認められているものとする),巻,頁,年

例;

の順に書く.

- 1) 安細敏弘, 浜崎朋子, 粟野秀慈ほか:福岡県下80 歳者の口腔内状況と運動機能の関連性について、口 腔衛生会誌 50:783-789, 2000.
- 2) Wang J, Someya Y, Inaba D et al.: Investigation of mineral changes in subsurface enamel lesions using an electrical caries monitor in vitro. J Dent Hlth 50: 59-65, 2000.
- b) 単行本の場合 著者名,表題,発行所,発行地,版,年,引用頁の 順に書く.

例;

- 1) 中村四郎:新口腔保健学, 医歯薬出版, 東京, 第1 版, 2000, 167 頁.
- Miller JS: Gingivitis. In: Hine MK, Hay HC, editors. Preventive dentistry. Mosby Co., St. Louis, 2nd ed., 1999, pp. 98-102.
- 3) Robins SL, Matthews JB: 斉藤五郎(監訳): 衛生公
- 衆衛生学,南江堂,東京,1999,255-291頁. インターネットウェブサイトから引用する場合,引用箇所には引用順に(*¹のように)番号を付し、そ の頁の欄外に脚注としてそのアドレスを掲載する.
- * World Health Organization: Continuous improvement of oral health in the 21st century, http://www.who.int/oral_health/en/ (2005年10月 1日アクセス)
- 9. この投稿規程に当てはまらないもの、および国内外の たばこ製造に係る事業者またはその関連団体(喫煙科 学研究財団など)から経済的支援を受けた研究結果は その内容のいかんを問わず受け付けない
- 投稿論文の採否は、複数の査読委員の意見を考慮して、 編集委員会が決定する
- 受理された論文の著者校正は初校のみとする。
- 「会員の声」欄の投稿については第75巻1号を参照す
- 13. 「論文奨励賞」については第63巻4号を参照すること
- 14. 掲載された論文の著作権の譲渡にあたって、承諾書は 日本口腔衛生学会ホームページよりダウンロードし、 署名、捺印(外国人については捺印は不要)を行い、 投稿時に下記事務局宛に郵送する. 本誌に掲載された 著作権(著作財産権 copy right) は本学会に帰属するも のとする.
- 15. 本誌掲載の著作物の複写権, 公衆送信権は本学会に帰 属するものとする。
- 16. 疫学研究, 臨床研究および動物実験に関しては, 倫理 審査委員会等による審査を受け、投稿原稿の「材料と 方法」の項にその旨を記載する。承認した倫理審査委 員会の名称および承認番号を記載する
- 17. 利益相反に関する言及が必要な場合は、謝辞に記載する.

承諾書送り先,および投稿全般に関する問合せ先: 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 口腔保健協会内 日本口腔衛生学会事務局編集係

電話: 03-3947-8894 FAX: 03-3947-8073 メール: hensyu8@kokuhoken.or.jp

口腔衛生学会雑誌発行予定

1号(1月30日)

2号(4月30日)

3号 (7月30日)

4号(10月30日)

(講演集は増刊号)

論文作成用のテンプレートが学会ホームページ内(http://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/journal.html)からダウンロード できるようになりました. 論文投稿の際, ご利用ください.